

[成果情報名] 水稲「静系糯 20 号」の奨励品種採用

[要 約] 「静系糯 20 号」は成熟期が「するがもち」より 5 日程度遅い晩生熟期の糯系統である。縞葉枯病抵抗性を持ち、食味および収量性に優れる。「するがもち」の欠点である「耐穂発芽性」および「脱粒性」が改善されていることから、「するがもち」に替わる奨励品種とする。

[キーワード] 水稲、静系糯 20 号、奨励品種

[担 当] 静岡農林技研・作物科

[連絡先] 電話 0538-33-6678、電子メール agrisakumotsu@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 水田・畑作物

[分 類] 技術・普及

---

[背景・ねらい]

昭和 52 年に奨励品種に採用された中晩生の糯品種「するがもち」は縞葉枯病に罹病性であり、穂発芽、脱粒および倒伏しやすいといった栽培上の問題点がある。そこで、これらの障害抵抗性や食味・収量性に優れ、作期拡大が可能となる晩生の糯品種または系統を選定し、奨励品種として県内への普及拡大を図る。

[成果の内容・特徴]

「静系糯 20 号」は「するがもち」と比較して次の特徴があるため奨励品種とする。

- 1 出穂期は 1 日遅く、成熟期は 5 日遅い晩生系統である（表 1）。
- 2 稈長は 8 cm 短く、穂長は 1.5 cm 長い。穂数は少ない偏穂重型である（表 1）。
- 3 玄米外観品質はやや劣るが、玄米千粒重は 2.5 g 大きく、収量は 7 % 程度多い（表 1）。
- 4 現地圃場においても 1～3 と同様な生育・収量結果が確認されている（表 2）。
- 5 耐倒伏性、葉いもちの抵抗性に優れ、縞葉枯病に抵抗性を持ち、穂発芽性は「やや難」、脱粒性は「難」である（表 3）。
- 6 食味はつきたて時の評価に優れ、切り餅時の評価はほぼ同程度である（表 4）。
- 7 ふ先色は淡赤色である（データ省略）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 「するがもち」と入れ替えて県内平坦地で作付けが拡大し、普及面積は 450ha が見込まれる。
- 2 葉いもちの抵抗性は「するがもち」と同程度であるため適期防除に努める。
- 3 出穂期から成熟期までが「するがもち」と比べて 4 日程度長いため、収穫時期の判断に注意する。

[具体的データ]

表1 「静系糯20号」の生育・収量

品種・系統名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏	精玄	同左	千粒重	玄米
	(月.日)	(月.日)	(cm)	(cm)	(本/㎡)	程度	米重	比率	(g)	外観
							(kg/a)	(%)		品質
静系糯20号	8.23	10.07	77	21.2	312	0.6	55.8	107	25.3	4.7
するがもち	8.22	10.02	85	19.7	377	1.4	52.3	100	22.8	3.9

注1) 平成24年から27年の平均。移植期は6月1日前後。

注2) 倒伏程度は0(無)～5(甚)の6段階評価。

注3) 玄米外観品質は1(上上)～9(下下)の9段階評価。

表2 現地圃場における「静系糯20号」の生育・収量

品種・系統名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏	精玄	同左	千粒重	玄米
	(月.日)	(月.日)	(cm)	(cm)	(本/㎡)	程度	米重	比率	(g)	外観
							(kg/a)	(%)		品質
静系糯20号	8.19	10.06	73	21.6	289	0.0	50.1	112	25.8	5.0
するがもち	8.18	9.30	78	20.0	353	0.3	44.9	100	22.7	5.4

注1) 平成26年と27年の平均。移植期は5月下旬。

注2) 倒伏程度は0(無)～5(甚)の6段階評価。

注3) 玄米外観品質は1(上上)～9(下下)の9段階評価。

表3 「静系糯20号」の障害抵抗性

品種・系統名	耐倒 伏性	葉いもち 抵抗性	縞葉枯病 抵抗性	穂発 芽性	脱粒 難易
静系糯20号	強	中	抵抗性	やや難	難
するがもち	やや弱	やや弱	罹病性	やや易	易

表4 「静系糯20号」の食味官能試験

品種・系統名	評価	評価項目					
		総合評価	外観	香り	うま味	のび	なめらかさ
静系糯20号	つきたて	0.30	-0.05	0.08	0.10	0.50	0.13
	切りもち	-0.07	-0.31	0.06	0.05	0.16	-0.06

注1) 平成25年から27年までの食味官能試験の平均。

注2) 「切りもち」は「つきたて」の餅をのし、一昼夜放冷後に切り分け、7日程度冷蔵庫で保存した後、鍋で煮た(5分間)ものを評価。

注3) 場内産「するがもち」を基準(0)とする-3～+3の7段階評価。

注4) パネラー数は9～20人。

[その他]

研究課題名：水稻・畑作物奨励品種決定試験

予算区分：県単

研究期間：2011～2015年度

研究担当者：井鍋大祐、外山祐介、白鳥孝太郎、宮田祐二、市原実、中野亮平

発表論文等：なし